

2026年2月25日

各位

(経過開示) abc ベーシックインカム構想、「MVMNT」プロジェクト
ティザーサイト公開
～本格ローンチに向け、サービス内容を公開～

当社は、2025年12月24日付で公表いたしました「abc ベーシックインカム構想」について、当社が支援する「MVMNT（ムーブメント）」プロジェクトのティザーサイトを、2026年2月13日に公開いたしましたので、お知らせいたします。



1. abc ベーシックインカム構想について

当社は、2025年12月24日付「[abc ベーシックインカム構想、「MVMNT」プロジェクトによる実装が本格始動](#)」にて既報のとおり、当社が支援してきた「MVMNT」プロジェクトの実装フェーズへの移行を公表いたしました。

本構想は、制度的ベーシックインカム(現金給付)ではなく、生活に必要な価値の循環を生み出すエコシステムの構築を目指しております。株価やトークン価格に連動しない、独自の「BI 利回り」指標（年間の利用可能生活価値の総額）を基準とし、年間200万円（月

額 16.7 万円) をモデル生活費として設定しております (※総務省家計調査に基づく単身世帯の平均消費支出を参考に設定)。

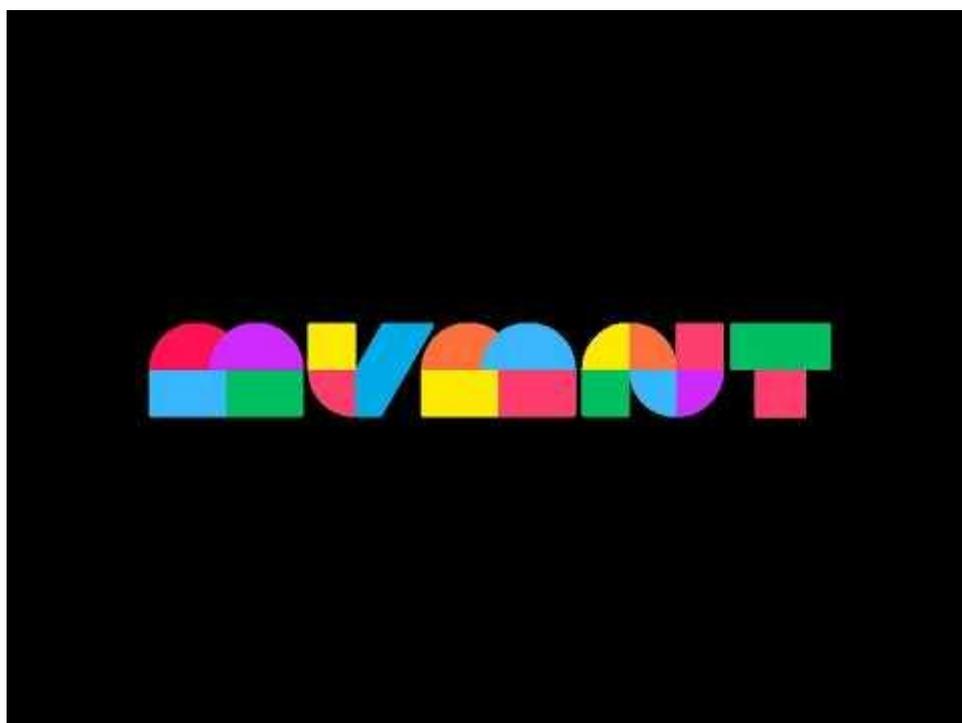
実装は以下の 3 段階を想定しております。

Phase	目標代替率	主な内容
Phase 1	生活費の約 30%	食 (農産物・加工食品・飲料)、日用品 (消耗品・生活雑貨)、住 (空き家活用)、体験 (地域体験・イベント)
Phase 2	生活費の約 60%	準居住・滞在の拡充、日常コマースの大幅拡充
Phase 3	生活費の 100%相当の代替	衣・食・住がエコシステム内で完結、AI による生活最適化

2. ティザーサイト公開について

【ティザーサイト URL】 <https://mvmnts.com/>

本サイトでは、暗号資産を日常生活で使える場としての MVMNT の役割や、出店者紹介プログラム、Heros X NFT などの情報を掲載しております。



▲ティザー動画

3. 当社と「MVMNT」プロジェクトの関係について

当社は、2025年2月14日付「[寄付機能付き暗号資産決済型マーケットプレイス「MVMNT」の開発及びWeb3プロジェクトとのコラボ実施に関するお知らせ](#)」にて公表のとおり、当社グループとして、「MVMNT」プロジェクトの開発を支援してまいりました。

MVMNTは、当社取締役が主導する開発プロジェクトであり、当社の自社サービスではありません。主に暗号資産決済を活用した次世代型マーケットプレイスとしてのMVMNT開発において、プラットフォーム設計支援、Web3プロジェクトとの連携支援、およびトークンエコノミクス設計支援等を実施してまいりました。

当社では、本構想の実装プラットフォームとしてMVMNTを位置付けており、引き続き支援を継続してまいります。

4. 「MVMNT」プロジェクトについて



(1) MVMNTの位置づけ

MVMNTは当社取締役が主導する開発プロジェクトであり、abcベーシックインカム構想の初期フェーズ（Phase 1）を実装する次世代型ECプラットフォームとして機能いたします。

(2) ティザーサイトで公開された主な機能

公開されたティザーサイトでは、以下の機能が紹介されております。

①暗号資産での日常商品の購入

暗号資産を保有するユーザーが、日常的に使える商品やサービスを購入できる仕組みを提供いたします。

②購入ごとの寄付機能

商品購入時に、社会貢献活動やコミュニティへの寄付を同時に行うことができる機能を搭載しております。

③出店者紹介プログラム

ユーザーが出店者を紹介することで、初年度売上の1～7%のコミッションを獲得できる仕組みを導入しております。コミュニティ主導でのエコシステム拡大を促進いたします。

④Heroes X NFT

MVMNT エコシステム内で役割を持つデジタルキャラクターNFT を提供します。MVMNT 内のウォレットを通じてミントすることが可能で、ユーザーはキャラクターを通じて、コミュニティ内での体験を楽しむことができます。



(3) 決済手段の多様性

法定通貨に加え、JPYC（日本円ステーブルコイン）や\$NYAN、その他 ERC20 トークンなどを用いた決済にも対応しており、国内外のユーザーが円滑に利用できる購買体験を提供することを目指しております。

5. セラー募集について

前回公表のとおり、本プラットフォームのローンチに先立ち、次世代型 EC の取り組みに共感いただける出店者の募集を実施しております。

本日公開いたしましたティザーサイトでは、出店者紹介プログラムを含む多様な参加方法を提供しており、コミュニティ主導でのエコシステム拡大を促進してまいります。

6. 今後の見通し

当社は、当社取締役が主導する「MVMNT」プロジェクトへの支援を通じて「多様性を通貨にする」というパーパスを具現化し、相場変動に左右されない生活価値の提供を目指してまいります。

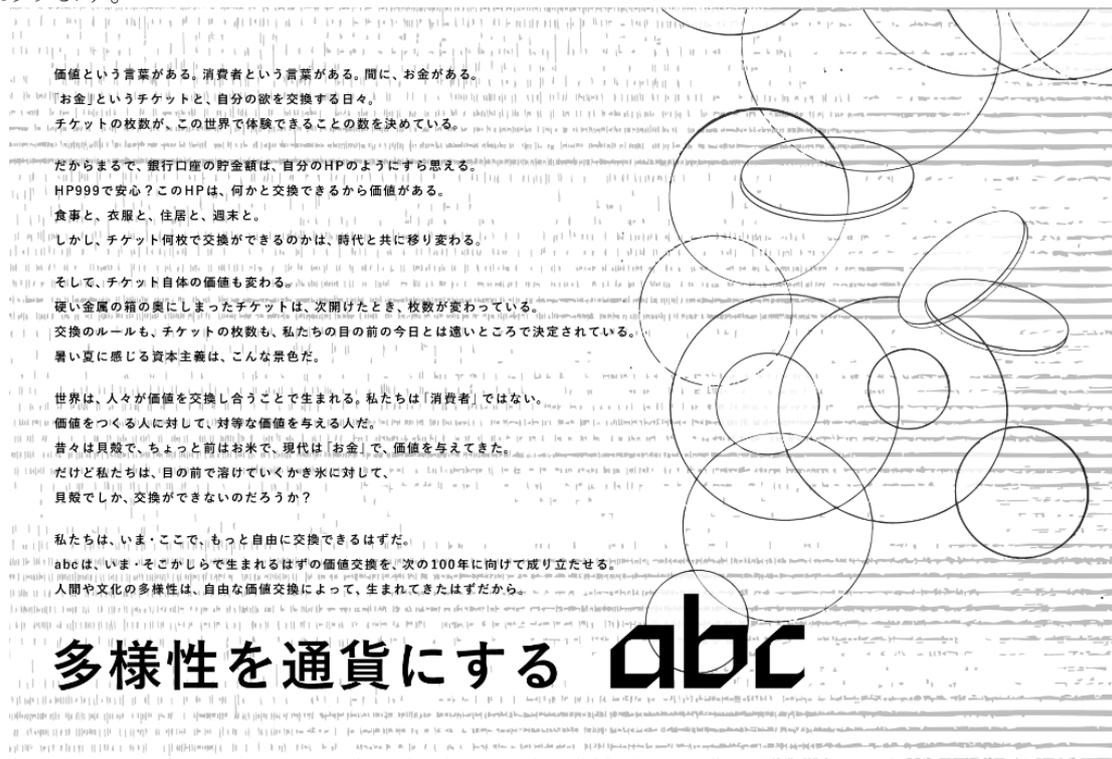
本格ローンチに向けた取り組みを加速させ、株主・トークンホルダーの皆様に対して、戦略的な価値を提供できるよう努めてまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本構想は、社会保障制度や公的所得保障ではなく、当社独自の価値循環エコシステムです。直接的な現金支給や生活費全額保証を約束するものではなく、生活価値の代替手段を提供する仕組みです。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目9番17号 赤坂第一ビル11階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部
pr@abc-chain.com

以上